

早稲田大学 政治経済学部  
2019年度 入試問題の訂正内容

<政治経済学部 一般入試>

【日本史】

●問題冊子6ページ：設問Ⅱ B〔viii〕

〔viii〕の解答は

記号で答えてください。

●問題冊子8ページ：設問Ⅲ—A 2（え）

設問に対する適切な解答がありませんでした。当該箇所の設問につきましては、解答の有無・内容にかかわらず、受験生全員に得点を与えることといたします。

●問題冊子13ページ：設問Ⅴ—A 4

択肢に正解として扱うことができるものが複数ありましたので、そのいずれを選択した場合も得点を与えることといたします。

以上



## 注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～14ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
  - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
  - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	<input checked="" type="radio"/> ① 良い	<input type="radio"/> ② 悪い	<input type="radio"/> ③ 悪い
マークを消す時	<input type="radio"/> ④ 良い	<input checked="" type="radio"/> ⑤ 悪い	<input type="radio"/> ⑥ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
  - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
  - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
  - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

(例) 3825番⇒ 

万	千	百	十	一
	3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の文章を読んで下記の問いA、Bに答えよ。

日本の前近代社会は厳しい身分制社会であったが、とりわけ古代・中世社会にあつては、その身分制の根幹を支えていたのが律令制的な官職制度であった。大宝律令では、政務を統括する太政官の最高責任者は **A** で、 **B** には特定の職務がなく、あくまでも臨時の職であった。729年、この **A** の職にあった長屋王は、国政の掌握をめざす藤原不比等の4人の子によって自殺に追い込まれたが、直後に日本列島を襲った天然痘の流行により4人の子が相次いで亡くなると、橘諸兄がこの職について国政を主導した。

一方、 **B** は大宝律令にその規定はあるものの、明確な形でこの職に就いた初例は平安時代の藤原良房であるとされる。しかし、良房の父・冬嗣の時代に、律令の規定にない令外官が国政上の重要な機能を担うようになると、律令制的な官職制度の変質が始まっていった。令外官には例えば、 **C** のような職があつたが、天皇の権限を代行し、これを補佐する摂政や関白も令外官であつた。こうして律令制の外に立つ者が天皇とともに太政官を指揮して政務を執り行うのが摂関政治であつた。しかし実は、その代名詞のように言われる藤原道長は、摂政や **B** に在任していた期間はごくわずかで、関白には在任していない一方、 **A** の職に長くともどまったことが知られている。これは道長が太政官という巨大な官僚機構を掌握する **A** の権能を熟知していたためと言われ、摂関政治の隆盛期にあつても太政官を中心とした律令制的な官僚機構はきちんと機能していたことがうかがえる。

この摂関政治が低調となるのにつれて始まったのが院政である。これを行った四代の上皇は、従来の摂関政治下で冷遇されてきた中下級貴族や受領層を近臣として重用し、公卿の会議を院御所で行わせたりしたが、政務の中心は依然として太政官にあつた。保元の乱では、現職の **A** であつた藤原頼長が敗死したが、「武者の世」の到来を告げたとされるこの乱で後白河天皇側が勝利を取ることができたのは、新興の武士の力もさることながら、天皇が檢非違使・衛門府などの太政官機構に属する軍事力をよく組織し得たからだとの見方もある。

この保元の乱と、続く平治の乱に勝利したのが平清盛で、1160年に参議となって公卿に列せられたのを皮切りに太政官の官職を急速に昇進し、1167年に武士として初めて **B** に任じられた。これと正反対の道を歩んだのが源頼朝で、太政官の官職としては1190年、わずか1ヶ月足らずの間、権大納言・ **D** に任官しただけでこれを辞職、1192年、長らく途絶えていた征夷大将軍に任じられた。しかし、頼朝が鎌倉に武家政権を開設した後も、朝廷との関係は太政官で発布する **E** と呼ばれる法令で定められており、決して幕府が朝廷を圧倒するようなこともなかった。

こうした関係を克服しようとしたのが足利義満であつた。義満は、1382年に **A** となって太政官機構を掌握したのに続き、1394年には武家としては平清盛以来となる **B** に就任し、公武の両権力を統一した室町王権とも呼ぶべき地位を確立した。義満のこの地位は、義満の没後、朝廷から贈られようとした **F** の号を子の義持が辞退したために継承されず、以後、太政官を中心とする官職制度は急速に衰えていった。

A 下記の問い1～8の答えをマーク解答用紙に記せ。

1. 空欄 **A** と空欄 **B** に入る語の組み合わせとして、正しいものはどれか。

- ア A：太政大臣 B：右大臣 イ A：左大臣 B：右大臣  
ウ A：太政大臣 B：内大臣 エ A：左大臣 B：太政大臣  
オ A：右大臣 B：太政大臣 カ A：右大臣 B：内大臣

2. 下線部aについての記述として誤っているものはどれか。

- ア 武智麻呂の子・仲麻呂は淳仁天皇より惠美押勝の名を賜った。  
イ 宇合の子・広嗣は聖武天皇の信任が厚かった玄昉らの排斥を求めて反乱を起こした。  
ウ 宇合の孫・種継は桓武天皇の信任を得て、長岡京への遷都を推進した。  
エ 平安時代初期まで優勢であつた藤原氏の式家の祖は房前である。  
オ 麻呂は不比等の四男で京家の祖である。

3. 空欄 **C** に入らないものはどれか。

ア 征夷大将軍      イ 勸解由使      ウ 造東大寺司      エ 蔵人頭      オ 少納言

4. 下線部 **b** の職に就いたことがある人物の説明として誤っているものはどれか。

- ア 藤原良房は、清和天皇の摂政となり、『続日本後紀』の編纂にも従事した。
- イ 「阿衡」に任じるとされた勅に抗議した藤原基経の行動により、関白の政治的地位が確立した。
- ウ 藤原忠平は、醍醐天皇のもとでその摂政として延喜の治を推し進めた。
- エ 藤原道長の日記は、彼が建立した法成寺にちなんでのちに「御堂関白記」と呼ばれた。
- オ 藤原頼通は「末法の世」に入るとされた1052年、宇治の別荘を仏寺とし平等院と呼んだ。

5. 下線部 **d** に関連して、院近臣に関する説明として誤っているものはどれか。

- ア 上皇の後妃や乳母の一族で、公卿出身の者に限定されていた。
- イ 上皇たちが建立した六勝寺の造営費用を負担することで、大国の国司に任じられた。
- ウ 上皇たちが政務を行う場として開いた院庁に院司として仕えた。
- エ 上皇たちが行う熊野詣の費用は近臣たちの成功などによってまかなわれた。
- オ 藤原通憲は鳥羽・後白河上皇の近臣として権勢を振るった。

6. 下線部 **e** に関する説明として誤っているものはどれか。

- ア 保元の乱後における後白河上皇の近臣間の対立が原因で起こった。
- イ 院近臣の藤原信頼は源義朝と結んで挙兵した。
- ウ 乱の過程で藤原通憲は平清盛によって自殺に追い込まれた。
- エ 乱後、源義朝の子・頼朝は伊豆に配流となった。
- オ 平清盛は幽閉されていた後白河上皇を脱出させ、藤原信頼らを滅ぼした。

7. 空欄 **D** に入る語はどれか。

ア 内大臣      イ 左兵衛督      ウ 右近衛大将      エ 兵部卿      オ 右衛門督

8. 空欄 **F** に入る語はどれか。

ア 北山殿      イ 太上法皇      ウ 准三后      エ 室町殿      オ 准母

B 下記の問い 9, 10の答えを記述解答用紙に記せ。

9. 下線部 **c** に関連して、この時期に主に宋などとの私貿易によってもたらされた大陸の文物を総称して何と呼ぶか。  
漢字 2 文字で記せ。

10. 空欄 **E** に入る語で、律令・格式の編纂の後に、太政官符や宣旨の形をとって朝廷から発布された法令を何と呼ぶか。漢字 2 文字で記せ。

Ⅱ 次の【史料1】【史料2】【史料3】を読み、下記の問いA、Bに答えよ。

【史料1】

『① 翁夜話』

翁曰、……我道の尊む増殖の道は……直に天地の化育を賛成するの大道にして、米五合にても、麦一升にても、②、芋一株にても、天つ神の積置せらるゝ無尽蔵より、③の鎌を以て此世上に取出す大道なり、

【史料2】

④ 文化四卯年正月 町奉行へ問合

何某在所、城下町人共相願候は、小判、⑤南鐮両替之節、金壺両二付錢十六銅ツ、切賃取申度旨申出候、  
(中略)

天保九戌年二月廿四日 長崎奉行へ差出

何某家来医師阿部魯庵と申者、兼而蘭学、医行相心懸罷在候處、今度長崎表へ罷越、⑥通詞中山作三郎へ隨身蘭学致修行、医術の方ハ、同所罷在候橋林栄賢へ相便り、稽古致度趣願出候、⑦

【史料3】

蚕業を営国々は、東山道八ヶ国、并に武蔵甲斐加賀越前若狭三丹州凡十六ヶ国也。……二百年以前、慶長元和の頃より、⑧正徳享保のころまで、凡百年の間に、諸国糸の産物、凡一倍に増、又享保の頃より、文化年中の今を見れば、⑨四増倍にも増たる事、十目の看るところなり。

(中略)

市を量りて、交易の群集を為すは、商賈の業也。其地に応ずる生産を撰で、京の水にて、⑩を染、池田伊丹に上酒を造り、伊万里の土にて、⑪を製し、越中富山の⑫商人、是等の類ハ、水に応じ、土に応じ、或は、諸国に応じて、生産すること、全く地理の妙要あるべし。

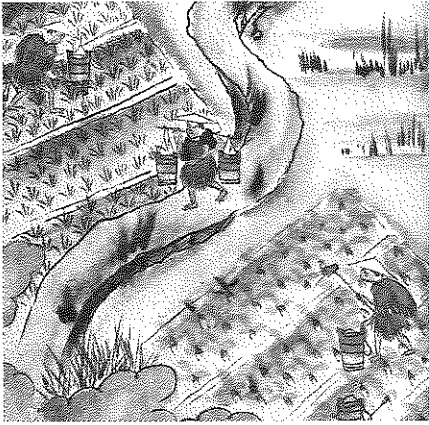
A 下記の問い [i] ~ [vii] の答えをマーク解答用紙に記せ。

[i] 下線部②の100倍はどれか。

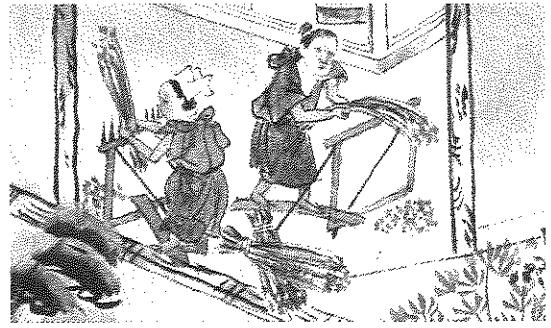
- 〈a〉 1勺    〈b〉 1丈    〈c〉 1斤    〈d〉 1畝    〈e〉 1石

[ ii ] 下線部③を描いている絵はどれか。

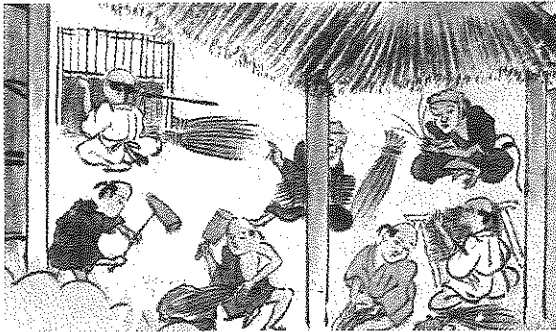
〈 a 〉



〈 b 〉



〈 c 〉



〈 d 〉



〈 e 〉



[ iii ] 下線部④における出来事でないものはどれか。

- 〈 a 〉 シーボルトが乗る予定であったオランダ船が暴風雨のため大破した。
- 〈 b 〉 イギリス船フェートン号が長崎湾に侵入した。
- 〈 c 〉 間宮林蔵が樺太からアムール川下流に渡った。
- 〈 d 〉 蜜書和解御用掛が設けられた。
- 〈 e 〉 朝鮮通信使を対馬で応接した。

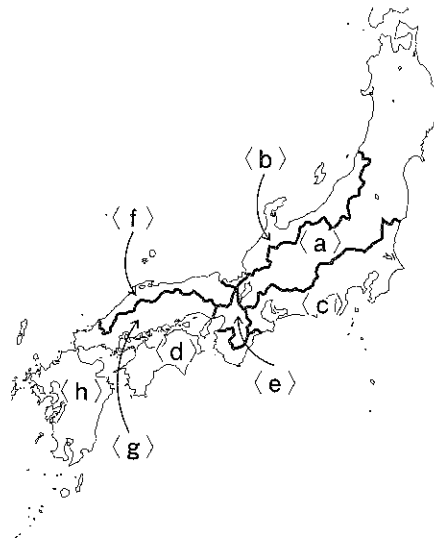
[iv] 下線部⑤についての記述として正しいものはどれか。

- 〈a〉 重くかさばるため、幕府が期待していたほどには流通しなかった。
- 〈b〉 勘定奉行神尾春央の提案により、元文期に創鑄された。
- 〈c〉 金貨の額面価値を付された計数貨幣である。
- 〈d〉 開港後、国外に大量に流出した。
- 〈e〉 金銀の産出量が減少していたため、真鍮を素材として鑄造された。

[v] 下線部⑦は蘭日対訳辞書の編纂に携わり、この辞書は『ドゥーフハルマ』として1833年に完成した。これに先だつ30数年前、『ハルマ和解』という最初の蘭日辞典も作られた。この『ハルマ和解』編纂の中心的人物は誰か。

- 〈a〉 杉田玄白      〈b〉 亜欧堂田善      〈c〉 山脇東洋      〈d〉 青木昆陽      〈e〉 稲村三伯

[vi] 下線部⑧は下の図のどこか。



[vii] 下線部⑨の時期の文芸・工芸作品はどれか。

- 〈a〉 喜多川歌麿「婦女人相十品」
- 〈b〉 近松門左衛門「国性爺合戦」
- 〈c〉 上田秋成「雨月物語」
- 〈d〉 河竹黙阿弥「三人吉三廓初買」
- 〈e〉 菱川師宣「見返り美人図」

B 下記の問い [viii] [ix] [x] の答えを記述解答用紙に記せ。

[viii] 空欄⑩⑪⑫に入る語として最も適切なものを下記の語群からそれぞれ1つ選べ。

【語群】

- (ア) 干鰯      (イ) 蘭草      (ウ) 菜種      (エ) 磁器      (オ) 醤油
- (カ) 売薬      (キ) 漆器      (ク) 綿花      (ケ) 薪炭      (コ) 砂糖
- (サ) 蠟燭      (シ) 昆布      (ス) 茶      (セ) 紅花      (ソ) 呉服

[ix] 空欄⑬には、報徳仕法の唱道者として知られている人物が入る。その氏名を漢字で記せ。

[x] 下線部⑭にあった商館が属しており、1602年に設立され、1799年まで存続していた組織を何というか。10文字で記せ。

Ⅲ 以下の対話は、ある大学における日本史担当の教授と学生が、ゼミで交わしたものである。この対話を読み、下記の問いA、Bに答えよ。

教授：今上天皇がいよいよ今年の春に譲位して「上皇」になるね。今のところ最後の<sup>f</sup>上皇は、誰なのか知っているかい。

学生：わかりません。後醍醐天皇でしょうか。天皇の影は建武の新政以来、江戸時代まで薄いです。

教授：孝明天皇はわかるね。その祖父にあたる（ a ）だよ。

学生：（ a ）は、尊号事件で（ b ）ともめた天皇ですね。

教授：応仁の乱以来、地に墮ちていた天皇の権威が再び大きく上昇した契機が、蝦夷地と呼ばれた樺太・千島・北海道へのロシアの脅威、日露間の領土問題だったんだ。最後の女帝でもあり当時の上皇でもあった後桜町上皇に見守られる形で、（ a ）は遠縁から即位した。だからこそ、天皇権威を再び蘇らせることに、非常に熱心だった。

学生：「天皇」号を父に送ろうとしたのも、その一環ですよね。たしか、10世紀末に摂関政治が始まって以来、死後は「天皇」ではなく「院」と呼ばれていたんですね。

教授：そうそう、よく知っているね。（ a ）が上皇となり、その死後に天皇号は復活するけれど、生前には民衆との距離も近づいている。京都に修学旅行等で訪れると白砂で取り囲まれた「御所」があるだろう。1788年の大火事で御所が焼けた後に、（ b ）と交渉して平安風の御所として再建したものだ。その前年に天明の大飢饉が始まって御所の周りを民衆がグルグル回った際には、幕府に申し入れて「お救い米」の放出もさせたし、後桜町上皇も多くのリングを民衆に配ったというよ。他にも、ラクスマンやレザノフの来航を受け「朝敵退散」を祈る賀茂社臨時大祭を復活させるし、幕府も北方の脅威を朝廷に報告し始める。

学生：なるほど、天明の大飢饉のしばらく後に、ちょうどゴローニン事件が起きていますね。（ c ）の活躍で一旦日露関係は落ち着いたんですね。

教授：そう。1797年には大量の蒙古船が、500年ぶりにまた対馬に来たという流言さえ広まったよ。大事なことは北方の脅威が迫る中で、幕府の内政や外交方針に天皇が関与し、それが前例となったことだ。血筋が遠い天皇だからこそ、ますます古代へ憧れる思いが強くなるのと、外国からの侵略の危険性の高まりが重なったことで、天皇権威が飛躍的に上昇した。その孫こそ孝明天皇なんだ。実際、孝明天皇が孫として成長する過程を、晩年の（ a ）は今度は自分が上皇となって見守った。また、孝明天皇の時代になって、1862年に薩摩の島津久光とその藩兵700人が江戸に下向して、一橋慶喜を將軍後見職につける圧力を行使した際、<sup>(a)</sup>天皇の幕政への人事介入の勅使となった（ d ）は、かつて（ a ）に仕えた身だったんだ。祖父の成し遂げられなかった夢を孝明天皇は果たしたと言えるかもしれない。

学生：なるほど、昨年大河ドラマ「セゴどん」で見たんですが、本当は、1858年に薩摩の（ e ）が幕政改革のため、西郷隆盛を指揮官に京都に上るはずでしたよね。

教授：薩摩が関ヶ原から撤兵して以来、約260年ぶりに軍事力を背景にして政治の表舞台に登場したのが、明治維新の具体的な引き金になったけれど、それは孝明天皇と結びついたからこそ可能となったんだ。1858年に將軍職が紀州の慶福に決まった直後、孝明天皇自らが幕政を無視し征夷大將軍を飛び越えて（ β ）藩に幕政改革と公武合体を求める密勅を下し諸藩への回覧を求めた。このことはドラマでもはっきり出ていたね。

学生：そんな大事な密勅が、なぜ教科書にもほとんど取り上げられないままなんですか。

教授：長く偽作だと言われたのは、天皇の政治利用の前例となつては困るという配慮が、明治維新史の大枠を最初に作った元老級の人物に働いたからだと思う。また、孝明天皇の死の原因や業績が公然と論じられたのも第二次大戦後のことだ。京都守護職の（ f ）に孝明天皇が送った直筆の手紙も、明治時代には元老達への配慮で公開されることはなかった。

天皇にまつわる事柄とともに、領土に関しても重要なことがあるよ。特に、樺太を含めた蝦夷地からのニシンが肥料となつて、瀬戸内の農民達による綿花栽培を支えていたこと、全国を回る廻船網の拠点であった（ あ ）港を中心とする紙や蠟燭等の販売網拡充によって長州藩が財政を改善したこと、そして俵物といわれる昆布等、蝦夷地の海産物の中国への密輸によって、薩摩藩が蘭学を興隆させたことが明らかになっている。蝦夷地への脅威が天皇権威を高め、同時に蝦夷地の物産が薩摩と長州の力を高めたんだね。

学生：随分と長州はもうけていたんですね。長州は尊王攘夷のはずじゃないんですか。



教授：実はね、ペリー来航直後の長州は「航海遠略策」を掲げて、大船製造を幕府や朝廷に訴えていたんだ。吉田松陰も海外渡航をしようとして捕縛されたよね。でも薩摩が兵を挙げて朝廷と幕府の斡旋に乗り出すと、逆に長州は攘夷実行を掲げて孝明天皇に取り入ろうとしたんだ。孝明天皇は和宮降嫁によって公武合体を進めるという幕府の方針をまず受け入れながらも、さっき言った薩摩を後ろ盾とする人事介入や新将軍上洛要求と合わせて、幕府に攘夷実行を迫っていった。けれど、当時の幕府は将軍からの具体的な攘夷実行方針が命令されるまで動くなという通達を諸藩に発していたんだ。それを長州はわざと破って、夜間にアメリカの商船を襲っただけなのに、そのパフォーマンスを攘夷実行だと騒いで派手に宣伝して孝明天皇に取り入ろうとしたよ。

学生：でも、結局長州は京都を追い出されたんですよね。

教授：そう、天誅組など長州系の過激派は、「征夷大將軍」が夷狄を排除できないのなら、古代と同様に天皇自らが軍事力を行使して夷狄を追い払うというパフォーマンスとして、天皇の（い）行幸を計画していたんだ。これは大元帥として白馬にまたがるような、軍事力を統帥するのちの世の天皇イメージの原型といえるけれど、孝明天皇はあまりに過激な勢力についていけなくなって直前にそれを中止し、その結果長州に親しい公家達や長州藩兵は、会津と薩摩の兵力で京都から追い出されたよ。<sup>(γ)</sup>

学生：追い出された長州が再び京都に攻め上ってきて（う）が起こるんですよね。

教授：よく知ってるね。それでさらに長州は追い詰められ、御所に刃を向けたということで長州を討つと幕府が言い出し、薩摩も最初はそれに加わるけれど、途中から薩摩は徳川中心の日本が強化されるだけなのを嫌って、天皇のもとで諸藩が一体となった公議政体樹立を旗印に長州に味方するようになるね。徳川慶喜は1867年3月に列国公使団から日本の主権者として認められ勢いを増していたんだ。同年秋の大政奉還後にも外交権を朝廷から認められていたほどだ。でも、その年末の小御所会議で（え）が発せられると、官職と領地返上命令をめぐる徳川家内部の反発を抑えられず、挑発によって朝敵になってしまうんだ。

A. 下記の問い1～3の答えをマーク解答用紙に記せ。

1. (あ)と(い)に該当する事項を、以下の語群からそれぞれ1つ選べ。

イ 丹波      ロ 兵庫      ハ 大和      ニ 近江      ホ 下関      ヘ 対馬      ト 長崎  
チ 鞆浦      リ 小倉      ヌ 博多

2. (う)と(え)に該当する事項を、以下の語群からそれぞれ1つ選べ。

イ 寺田屋事件      ロ 天狗党の乱      ハ 生野の変      ニ 立憲政体樹立の詔  
ホ 坂下門外の変      ヘ 禁門の変      ト 徳川慶喜追討令      チ 王政復古の大号令  
リ 五箇条の御誓文      ヌ 五榜の掲示

3. 下線部(α)の帰りに生麦事件は起こった。ヒントとなる本文をよく読み、出来事の順序を以下から選択せよ。

イ 安政条約締結→和宮降嫁→生麦事件→安政の大獄→天誅組の変→桜田門外の変  
ロ 安政条約締結→安政の大獄→桜田門外の変→和宮降嫁→生麦事件→天誅組の変  
ハ 安政条約締結→和宮降嫁→安政の大獄→生麦事件→天誅組の変→桜田門外の変  
ニ 安政の大獄→安政条約締結→生麦事件→桜田門外の変→和宮降嫁→天誅組の変  
ホ 安政の大獄→安政条約締結→桜田門外の変→和宮降嫁→生麦事件→天誅組の変

B. 下記の問い1～3の答えを、記述解答用紙に記せ。

1. (a)～(f)に入る人物を以下の(イ)～(フ)の中からそれぞれ1人選び、その記号を記せ。

イ 大原重徳	ロ 最上徳内	ハ 伊藤博文	ニ 山内容堂	ホ 陸奥宗光
ヘ 松平定信	ト 大塩平八郎	チ 中御門天皇	リ 光格天皇	ヌ 桃園天皇
ル 阿部正弘	ヲ 仁孝天皇	ワ 後桃園天皇	カ 伊達宗城	ヨ 坂本龍馬
タ 後藤新平	レ 斎藤実	ソ 西郷従道	ツ 水野忠邦	ネ 田沼意次
ナ 松平慶永	ラ 徳川家達	ム 間宮林蔵	ウ 松平容保	ノ 調所広郷
オ 島津義弘	ク 高田屋嘉兵衛	ヤ 井伊直弼	マ 島津斉彬	ケ 島津重豪
フ 堀田正睦				

2. 下線部(β)に入る語を漢字2文字で記せ。

3. 下線部(γ)時の摂政は関白と対立し、会津・薩摩の軍隊に支えられ、攘夷派の長州藩兵を、行幸に賛成した一部の公家とともに京都から駆逐した。その事件の名前を記せ。

IV 次の【史料1～5】を読み、下記の問いA、Bに答えよ。

【史料1】

我国は金輸出解禁以来内外の情勢により財政経済極度の行詰りを来し最近は巨額の正貨流出に伴ひ金融の梗塞甚しく財界は深刻なる影響を蒙りこのまま推移するを許さざるに至れり。よって現内閣は金輸出禁止を行ひ時局を匡救するの急務なるを認め昨十三日組閣の劈頭に於て金輸出取締に関する大蔵省令を公布せり。  
(a)

【史料2】

今や連合列強は、(b)軍が西比利亚方面に於て獨塊俘虜の爲め著しく迫害を被むるの報に接し、空しく拱手傍観すること能わず、業に已に其の兵員を浦塩に派遣したり。合衆国政府も亦同く其の危急を認め、帝国政府に提議して先づ速に救援の軍隊を派遣せむことを以てせり。是に於てか帝国政府は合衆国政府の提議に応じて其の友好に酬ひ、且今次の派兵に於て連合列強に対し歩武を齊じうして履信の実を挙ぐる爲速に軍旅を整備し、先づ之を浦塩に發遣せむとす。

【史料3】

魯西亞・佛蘭西・英吉利・阿蘭陀・亞墨利加五ヶ国交易御差許相成候間、当未六月より神奈川・長崎・箱館三港において、商人共勝手に可遂商売候。右之もの共舶来之品々売捌候者勿論、居留之外国人共見世之売品、諸人買取候儀も是又勝手次第たるべく候。

【史料4】

日滿支を一環とし大東亞を包容して自給自足の共栄圏を確立し、其の圏内に於ける資源に基きて国防経済の自主性を確保し官民協力の下に重要産業を中心として総合的計画経済を遂行し以て時局の緊急に対処し国防国家体制の完成に資し依って軍備の充実国民生活の安定国民経済の恒久的繁栄を図らんとす。

【史料5】

方今の急要は貨幣運用の基軸を定め、正貨を蓄積して紙幣償還の元資を充実せしめ、物産を興隆して輸入を制するの目的を立てざる可からず。……今近く之を全国の現状に考へ遠く之を欧州の実例に証するも、財政の目的は中央銀行の設立に帰するを信ずるなり。……今試に我国の現状を見よ、税権と雖ども法権と雖ども一も我に帰するものなく貧困孱弱の地位に在るに非ずや、而して智識財力共に富饒の外人に其資本を仰ぎ之を以て、内地に散布するときは、固より一時正金の流通を得可しと雖ども其患害の百出するは言わずして明らかなり。

A 下記の問い1～3の答えを、マーク解答用紙に記せ。

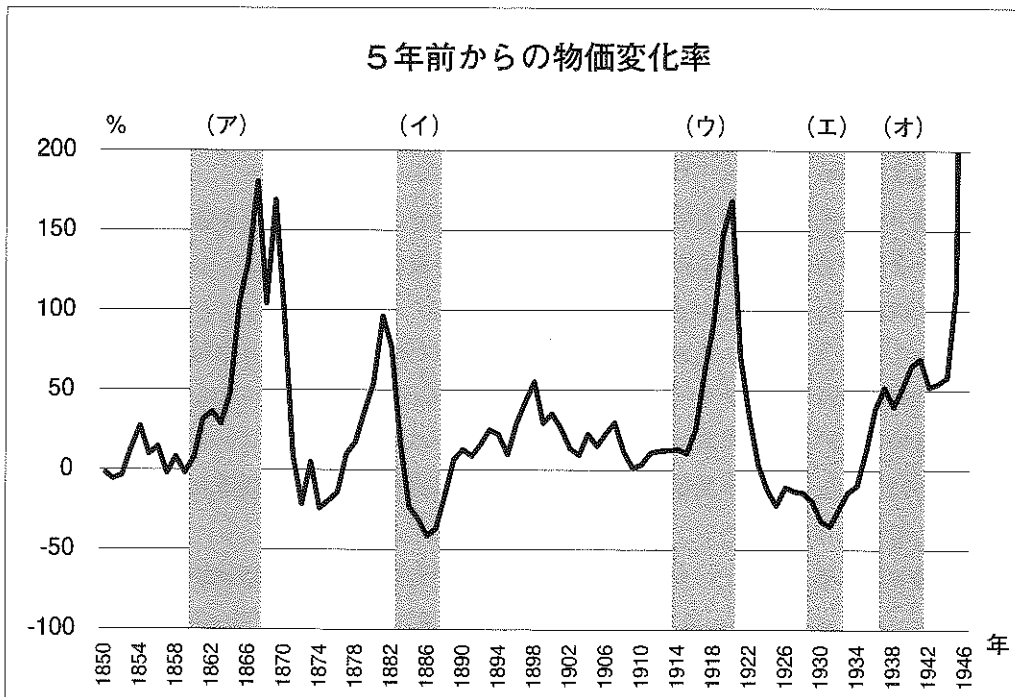
1. 史料1～5と最も関係の深い時期を、下のグラフのア～オから選べ。

2. 下線部（a）にいたる経緯の記述として誤っているものはどれか。

- ア 政府は日清戦争の賠償金の一部を準備金に充てて金本位制を採用した。
- イ 金輸出解禁により、日本の輸出は増加し、輸入は減少した。
- ウ 政府は金輸出解禁を試みたが、金融恐慌により断念した。
- エ 世界的な景気後退により、農産物価格が下落した。
- オ 金輸出禁止を見越した投機的な行動が高まった。

3. 空欄（b）に入る国に関する記述として正しいものはどれか。

- ア 中国から広州湾を租借した。
- イ 自国へのナチス・ドイツの侵攻を受けて第2次世界大戦が始まった。
- ウ 満州の門戸開放を唱えた。
- エ 日本における統帥権干犯問題の発端となった会議が開かれた。
- オ 民主化を求める市民運動が起きたが、ソ連の武力により鎮圧された。



(深尾京司・中村尚史・中林真幸編『日本経済の歴史』第2巻、第4巻をもとに作成)

B 下記の問いの答えを記述解答用紙に記せ。

上のグラフは、江戸・東京における物価の長期的な動きを表したもので、ある年の物価が5年前と比べてどのくらい変化したかを百分率で示している。史料1～5を参考にしながら、(ア)～(オ)のそれぞれの時期における物価変動とその原因を150字以内で説明せよ。

V 次の【史料1】から【史料4】は、日本の外交上重要な出来事について報道した新聞記事の一部である。下記の問いA、Bに答えよ。

【史料1】

六年前の北京と同様、この日の東京は秋色深い空にめぐまれた。田中首相の北京訪問が、圧倒的な国民の支持に送られたのと同様、批准書交換式は全政党一致の賛成で慶祝された。すべてが、北京から東京へたんと流れてきたかにも見える。

しかし、そうではない。共同声明から平和友好条約にいたる六年間の曲折は、新しい日中関係をつくることのむずかしさを物語っている。それは条約の発効で解決された、と考えてはなるまい。

政治、社会体制の違う日中両国の平和共存は必ずしも容易な事業ではない。またそれがなしとげられたとしても、一方でアジアの平和醸成に役立つ半面、両国の連携は、外交、経済、安全保障の各面でアジア諸国や(1)との摩擦を生む可能性をはらんでいる。「(2)」条項をめぐる日中交渉の曲折も、そこに由来する。

※Web公開にあたり、著作権者の要請により出典追記しております。  
朝日新聞社 社説「日中新時代」をつくる 1978/10/24  
朝日新聞・本社版・朝刊

【史料2】

日韓両国の間には、ある期間、日韓両国民にとって不幸な関係が続いたことは、共同声明の中で述べている通りである。そうした考慮に立って、過去を反省するとともに、日韓両国民は、新しい国際環境の中で、対等な隣国として互いに提携することによってアジアの平和に寄与すべきだと考える。そして、二度と両国が過去におけるような不幸な状態を繰り返さない決意を固めるべきだと思う。

だが、日韓両国の基本関係をとりきめるに当って、旧条約は不法なものであるから存在しなかったという韓国の主張には、にわかには賛成するわけにはいかない。旧条約が存在したことは歴史的な事実であって、事実そのものを抹殺(まさつ)することは妥当とはいえない。重要なことは、歴史の教訓を生かして、両国がともに繁栄する基礎をかためることではあるまいか。

椎名外相の訪韓と日韓基本条約の仮調印によって、日韓両国間の懸案に対する妥結ムードがある程度高まったことは、否定しえないようである。過去十四年間にわたって曲折を重ねた日韓会談が、かりに全面的な妥結に近づいたとするなら、むろん両国のために歓迎すべきことといえる。ただ、はなはだ遺憾なことは、われわれにとってもっとも重視される漁業および(3)の問題が最後まで解決を引きのばされている点である。

※Web公開にあたり、著作権者の要請により出典追記しております。  
朝日新聞社 社説「喜び」と「憂慮」 1951/09/09  
朝日新聞・本社版・朝刊

【史料3】

日ソ共同宣言をはじめとする日ソ関係四議案は、予定どおり二十七日に衆議院で承認された。このごろの国会としては珍しく順調な審議ぶりであった。

この日ソ関係議案の審議が順調だった原因は、やはり野党である(4)の積極的な協力に負うところが多かったろう。(4)はすでに早く、日ソ関係の議案は原則としてこれを承認するという方針を決めていた。一部の討論者が強調していたように、この日ソ関係議案は、(5)から(6)までが原則的にこれを承認するという異例の風景を見せていた。

それに、(7)への期待と在ソ抑留者引揚促進の機運とが、さらに審議促進をたすけていたろう。(7)をさまたげたというような批判や、引揚促進の障害になったというような非難は、受けたくないという空気が、委員会を支配していたように感ぜられた。

※Web公開にあたり、著作権者の要請により出典追記しております。  
朝日新聞社 社説「日ソ共同宣言の議論を顧みて」 1956/11/28  
朝日新聞・本社版・朝刊

【史料4】

吉田全権は、講和後における日本の国際的な地位がすこぶる困難なことは十分に承知のはずである。それ故にこそ、この条約を締結するかぎり、米国との間に安全保障条約を結ぼうとするのである。そして、日本が、何らかの形でその安全を保障する措置をとることは、全権の言をまたずに、当然すぎるほどのことであるが、目下の日本をめぐる国際情勢が、今回の安全保障条約をもちさえすれば、それで十分に安心できる状態であるかどうかは、すこぶる問題である。

※Web公開にあたり、著作権者の要請により出典追記しております。  
朝日新聞社 社説「一段階を画した日韓関係」 1965/02/21  
朝日新聞・本社版・朝刊

この点、考えねばならぬことは、自らの守りまで捨て、既に生れ変わった日本を、依然として仮想の敵国と見、さらにその日本と結ぶ国があれば、その国をも敵国と仮想する中ソの同盟国があるということである。日本は新しく生れ変わった現実を足場として、かゝる同盟の非を鳴らす必要があることは固よりであるが、それにしても、かゝる同盟国が現に存在し、かつは現実には、(8) 戦乱の中に、この同盟国が西欧諸国と対立しているという事実、そしてそこに世界平和には明かに危険なる割れ目が生じている事実には目を覆うことはできないのである。

A 下記の問い1～8の解答をあ～おから選び、マーク解答用紙に記せ。

1. 【史料1】から【史料4】を年代順に並び変えたときの順序として正しいのはどれか。

- あ 1→3→2→4      い 4→3→2→1      う 1→3→4→2  
え 4→2→3→1      お 4→3→1→2

2. 空欄(1)に入るのはどれか。

- あ アメリカ      い ソ連      う 韓国      え 北朝鮮      お ロシア

3. 空欄(2)に入るのはどれか。

- あ 武器輸出      い 非核化      う 安保      え 不可侵      お 覇権

4. 下線部bの締結にいたる経緯についての記述として誤っているのはどれか。

- あ 桂太郎が総理大臣の時に、日本は非公式に桂・タフト協定を結び、韓国の保護国化をアメリカに承認させた。  
い 日本は第2次日英同盟を結んで、韓国の保護国化をイギリスに承認させた。  
う 陸奥宗光が外務大臣の時に、第2次日韓協約を結び、日本は韓国の外交権を接収した。  
え 日本による保護国化に抗議するため、韓国皇帝高宗はハーグの第2回万国平和会議に密使を送った。  
お 第3次日韓協約によって日本は韓国の内政権を取得し、皇帝高宗を退位させ、韓国軍を解散させた。

5. 下線部cについての記述として誤っているのはどれか。

- あ この条約の締結に向けた日韓交渉は1952年に吉田茂内閣の時に始まり、第7次会談まで行われた。  
い この条約とともに結ばれた日韓法的地位協定によって、日本に居住する朝鮮半島出身者は日本国籍を失った。  
う この条約によって、韓国政府は国連決議が規定している朝鮮半島にある唯一の合法的な政府であることが確認された。  
え この条約とともに結ばれた請求権・経済協力についての協定によって、請求権問題は最終的に解決済みであるとされた。  
お この条約を締結した日本の内閣は1968年に小笠原諸島返還協定、1971年には沖縄返還協定にも調印した。

6. 空欄(3)には韓国が主権の範囲として主張していたライン(境界線)が入る。このラインを示した韓国大統領は誰か。

- あ 朴正熙      い 李承晩      う 李完用      え 李成桂      お 金大中

7. 空欄(4)(5)(6)に入る政党の名称の組み合わせとして正しいのはどれか。

- あ 社会党—改進黨—自由党      い 右派社会党—自民党—左派社会党      う 民主党—自由党—共産党  
え 社会党—自民党—共産党      お 民主党—自由党—社会党

8. 空欄（7）に入る、日ソの国交正常化の結果として可能となった日本にとって重要な出来事はどれか。

- あ 国際連合への加盟                      い L T貿易の開始                      う 公職追放の解除  
え 国際通貨基金への加盟                      お 樺太・千島の国境線画定

9. 下線部 d についての記述として正しいのはどれか。

- あ アメリカ軍には日本を防衛する義務があることが明記されていた。  
い 日本政府の要請に応じて、アメリカ軍は日本の内乱を鎮圧することができた。  
う 条約の細目は1952年に日米地位協定によって定められた。  
え 1960年までを期限としていたが、同じ年に延長された。  
お 1970年に破棄され、新たに日米安保共同宣言が出された。

10. 空欄（8）に入るのはどれか。

- あ 中東                      い 湾岸                      う 朝鮮                      え ベトナム                      お イラク

B 下記の問い11、12の答えを記述解答用紙に記せ。

11. 下線部 a の首相は、1976年に逮捕された。逮捕の理由となった汚職事件を何と呼ぶか。

12. この当時、下線部 e とも同時に平和条約を締結すべきだという主張も見られた。この主張を何と呼ぶか。漢字4文字で記せ。

〔以下余白〕

